

# あいつばんげ 議会だより

218号

令和7年8月25日発行  
福島県会津坂下町議会



ばんげの「いい顔」みいつけた！

塔寺いばいの森百年委員会

関連ページ…P14

## 目次 - CONTENTS -

|              |    |
|--------------|----|
| 第2回(6月)定例会   | 2  |
| 一般質問(8人が登壇)  | 6  |
| 議会の動き        | 11 |
| みんなのひろば・編集後記 | 14 |

古川町政に待った！

# 一般会計補正予算修正案提出

小中学校入学祝金の費用を

削除する修正案



## 小中学校入学祝金とは

町が小中学校に入学する児童生徒の健全な成長を願い、子育て世代を応援することを目的とし、保護者に対し、

・小学校入学祝金 3万円  
・中学校入学祝金 7万円  
(※入学準備に要する費用として算出)  
を支給しようとするものです。

令和7年度対象者

・小学校82名  
・中学校101名  
合計183名

支給総額 953万円

一般会計補正予算の一部として第2回定例会に議案として提出されました。

五十嵐一夫議員より、小中学校入学祝金について、次の提出理由から実施しない旨の修正をしたいとして、その費用を削除するための修正案が提出されました。

(提出理由)

- ・この度の町長の選挙公約にあったが、選挙のない時には保育料の負担増。令和4年度と5年度で600万円の負担増があった。選挙時は支給するのか。選挙目当てと理解し、実施時期と動機が不純である。
- ・長寿祝金には条例がある。入学祝金についても条例を制定して実施するのが妥当である。
- ・ふるさと納税から支出するならば、基金・特別会計を作り、明確に支給することが正当である。
- ・提案するには十分な検討・協議がなされていない。

**問**

物価高騰により若者世代が経済的に困っている中、緊急的なこのような措置は良い施策だと思う。条例制定に当たり、どのような項目を検討しているのか。また、趣旨についてはどう考えているか。

(高久敏明議員)

**答**

全体的な財源やどのような形で支給するか、金額等がじっくり検討されていない。議会と協議し一緒に考えたい。これが協働のまちづくりだと思う。

救済・支援は良いことだが、唐突に作られたので制度自体に欠陥がある。プロセスを踏んでやるのが議会である。

(五十嵐一夫議員)

## 第2回定例会

### 問

少子化の中で、子育て世代を応援したいという施策だと思うが、一方で高齢者はどうなのかという話がされている。そもそも子育て世代に対する施策と高齢者に対する施策は平等にできると思っているのか、何が平等だと思っているのか、何を優先すべきだと思っているのか。

(小畑博司議員)

### 答

私が執行者であればきちんと答弁する。高齢者の長寿祝金と入学祝金は別物である。高齢者に対しては切り離してやるべきだと思う。

(五十嵐一夫議員)

### 修正案に対する討論

### 反対

子育て世代の生活は、物価高騰も続く中で苦しさを増している。行政ができることはできる限り早くやるべきである。したがって、「入学祝金」創設はすぐにも実現すべきであり、修正案には反対である。

(小畑博司議員)

### 採決の結果は

修正案に対する採決の結果は

賛成 2名

反対 10名

となり、反対多数で否決されました。(詳しい賛否は4ページをご覧ください)

なお、議案第41号一般会計補正予算(第2号)は賛成多数で可決されました。(詳しい賛否は4ページをご覧ください)



### 〈採決結果〉

#### 町長に対する問責決議

記名投票により、  
**賛成 2票 反対10票**  
となり、反対多数で否決されました。  
(詳しい賛否は4ページをご覧ください)

#### 小畑監査委員に対する辞職勧告決議

無記名投票により、  
**賛成 2票 反対9票**  
となり、反対多数で否決されました。

古川町長問責決議  
小畑監査委員辞職勧告決議も提出される

やうに！

五十嵐一夫議員より、6月1日執行の町長選挙において、町議会選出監査委員の小畑博司議員を古川候補の選挙対策本部長に就任させた(した)ことについて、五十嵐一夫議員の私見によると、古川町長に対しては、二元代表制における町と議会の関係をないがしろにするものであるとして政治責任を問い、小畑博司議員(議会選出監査委員)に対しては、監査委員は常に公正不変の態度を保持して監査しなければならず、二元代表制、議会の機能を失墜する行為であることから、監査委員辞職の勧告をする議案が提出されました。

第2回定例会

補正予算

令和7年度一般会計補正予算ほか

(万円未満四捨五入)

| 令和7年度 |            | 補正額       | 補正後の額      |
|-------|------------|-----------|------------|
| 一般会計  |            | 5億6,531万円 | 91億3,828万円 |
| 特別会計  | 国民健康保険     | 2,505万円   | 19億2,125万円 |
|       | 介護保険       | 403万円     | 24億1,873万円 |
|       | 後期高齢者医療    | 8万円       | 2億3,526万円  |
| 企業会計  | 水道(収益的支出)  | 223万円     | 4億7,894万円  |
|       | 下水道(収益的支出) | 11万円      | 3億9,847万円  |

条例

校医等設置条例の一部を改正する条例

「内科医」を「小児科医又は内科医」に変更し、小児科医を校医として任命できるように条例の一部を改正するもの。

討論

一般会計補正予算に対する討論

賛成

近年の物価高騰、実質賃金のマイナスが続き、厳しい経済状態が続いている中、子育て世帯の支援の一環としての小中学校入学祝金に賛同する。今後とも子育て支援の拡充に取り組んでいただくことを切に願う。

佐藤宗太 議員

反対

小中学校入学祝金について、予算化がされていないものに対して補正というのはおかしいのでは。

計画性に欠けているし、創設ということであれば次年度入学生から対象でもいいのではないか。

また、長寿祝金と同様に条例化し、しっかりと議論を重ね、よりよい子育て支援に繋げるべきである。

喫緊の課題は、保護者を含めた「心の支援」であり、これこそが真の子育て支援である。

したがって、一般会計補正予算に反対である。

酒井育子 議員

私はこちら判断！

賛否の分かれた議案

|                                              | 1                   | 2     | 3    | 4    | 5    | 6    | 7    | 8     | 9     | 10    | 11   | 12   | 13  | 14   |
|----------------------------------------------|---------------------|-------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|------|------|-----|------|
|                                              | 高久敏明                | 五十嵐孝子 | 目黒克博 | 物江政博 | 横山智代 | 小畑博司 | 佐藤宗太 | 五十嵐正康 | 青木美貴子 | 五十嵐一夫 | 水野孝一 | 酒井育子 | 山口享 | 赤城大地 |
| 議案第41号<br>令和7年度会津坂下町一般会計補正予算(第2号)            | ○                   | ○     | ○    | ○    | ×    | ○    | ○    | ○     | 欠     | ×     | ○    | ×    | ○   | 議長   |
| 令和7年度会津坂下町一般会計補正予算(第2号)に対する修正案               | ×                   | ×     | ×    | ×    | ×    | ×    | ×    | ×     | 欠     | ○     | ×    | ○    | ×   |      |
| 発議第2号<br>古川庄平町長に対する問責決議                      | ×                   | ×     | ×    | ×    | ×    | ×    | ×    | ×     | 欠     | ○     | ×    | ○    | ×   |      |
| 発議第3号<br>小畑博司町議会選出監査委員に対する辞職勧告決議             | 無記名投票により<br>賛成2・反対9 |       |      |      |      | 退    |      |       | 欠     |       |      |      |     |      |
| 請願第4号<br>はたらく女性への健康配慮を求める請願                  | ×                   | ○     | ×    | ×    | ○    | ○    | ×    | ×     | 欠     | ×     | ×    | ×    | ×   |      |
| 請願第8号<br>「消費税5%への減税を求める意見書」の提出について           | ○                   | ×     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | 欠     | ×     | ○    | ×    | ○   |      |
| 請願第10号<br>国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての請願 | ×                   | ○     | ×    | ×    | ○    | ○    | ×    | ×     | 欠     | ×     | ×    | ×    | ×   |      |
| 発委第6号<br>消費税5%への減税を求める意見書の提出について             | ○                   | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | 欠     | ×     | ○    | ×    | ○   |      |

上記以外の議案は賛成全員で可決しました。 ○：賛成 ×：反対 退：退席 議長は採決に加わりません。

# 第2回定例会

## 請願の結果

|      | 件 名                                                     | 請 願 者                                                | 紹介議員 | 結 果  |
|------|---------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|------|------|
| 第4号  | はたらく女性への健康配慮を求める請願                                      | 会津の大地と健康を守る会<br>代表 千葉親子                              | 小畑博司 | 不採択  |
| 第6号  | 地方財政の充実・強化を求める意見書提出請願書                                  | 日本労働組合総連合会福島県連合会<br>両沼地区連合会<br>議長 檜山洋明               | 小畑博司 | 継続審査 |
| 第7号  | 「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書 | 福島県教職員組合<br>中央執行委員長 瀬戸禎子<br>福島県教職員組合両沼支部<br>支部長 星 和雄 | 横山智代 | 採択   |
| 第8号  | 「消費税5%への減税を求める意見書」の提出について                               | 消費税廃止各界連絡会<br>事務局 服部 雅                               | 小畑博司 | 採択   |
| 第9号  | 「インボイス制度廃止を求める意見書」の提出について                               |                                                      |      | 採択   |
| 第10号 | 国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての請願                      | 新日本婦人の会会津坂下<br>代表 保知 栄子                              | 小畑博司 | 不採択  |
| 第11号 | 国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願             |                                                      |      | 継続審査 |

## 討 論

### 請願第8号「消費税5%への減税を求める意見書」の提出について



#### 賛成

消費税5%への減税は直接の物価高対策になり中小企業支援にもなる最も効果的な減税である。すべての商品・サービスが対象となる5%への減税は幅広く家計負担の軽減になる。

横山智代 議員

#### 反対

この国の経済を立て直すには大胆な経済政策が必要である。よって、消費税は廃止するしかない。

五十嵐孝子 議員

### 請願第10号 国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての請願

#### 賛成

夫婦同姓の強制がアイデンティティの喪失や経済的不利益をもたらしていることは明らかであり、憲法第24条第1項にある通り「夫婦が同等の権利を有する」のが基本。どの姓を選ぶかは自由でありその権利がある。

横山智代 議員

#### 反対

導入すれば、子供の氏の安定性が侵される。戸籍制度が崩壊するなど社会秩序の保持にとって大変危惧される状況となる。本請願の採択によって地方の方々が困っているかのような誤ったメッセージを発信するべきではない。

高久敏明 議員

# 一般質問

## これでいいのか！ 町政

一般質問は議員が町政全般について、現状や方針を問うものです。  
一人あたりの持ち時間は答弁を含めて50分間です。今定例会では8人が登壇しました。  
掲載している内容は質問者自身が要約し、広報広聴特別委員が校正したものです。  
QRコードから、各議員の一般質問の映像をご覧ください。  
また、会議録もホームページをご覧ください。

YouTube  
(議会トップページ)



会議録



### 通告の順番により質問がされました

| 順番 | 議席番号 | 氏 名   | 通 告 内 容                    |
|----|------|-------|----------------------------|
| 1  | 10   | 五十嵐一夫 | 町長の政治姿勢について ほか             |
| 2  | 1    | 高久 敏明 | まちづくりの方針について ほか            |
| 3  | 7    | 佐藤 宗太 | 町長公約について ほか                |
| 4  | 2    | 五十嵐孝子 | 新庁舎建設事業について ほか             |
| 5  | 6    | 小畑 博司 | 教育施設などの防犯対策をどのように考えているか ほか |
| 6  | 8    | 五十嵐正康 | 庁舎建設と財政について ほか             |
| 7  | 5    | 横山 智代 | 2期目の古川町政について ほか            |
| 8  | 3    | 目黒 克博 | 町地域防災計画について ほか             |

### 議会を傍聴してみませんか？

手続きは簡単。受付簿に名前を書きだけ！  
第3回定例会は、令和6年度決算の審議が行われます。



#### 【令和7年第3回定例会日程（予定）】

|    |        |               |
|----|--------|---------------|
| 9月 | 4日(木)  | 招 集 日         |
|    | 8日(月)  | 一 般 質 問       |
|    | 9日(火)  | 一 般 質 問       |
|    | 12日(金) | 決算特別委員会（一般会計） |
|    | 16日(火) | 決算特別委員会（特別会計） |
|    | 18日(木) | 最 終 日         |

※日程は変更になる場合があります。

〈お詫びと訂正〉 あいづばんげ議会だより 217号 11ページ上段 青木美貴子議員の空き店舗利用に関する問の答弁において、「平成7年度より」とありますが、「令和7年度より」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。



いがらし かずお 議員  
五十嵐 一夫

直ちに撤回を

入学祝金は選挙目当て

門出を祝い、応援することを目的としています

映像はこちら  
から↓



**問** 町長選挙で公約に掲げた小・中学生の入学祝金はなりふり構わない政策で、当選すれば入学時に祝金ができる、にんじんをぶら下げるの集票で、選挙目当てである。

2年前の保育料改定では、保護者負担を30%から50%へ増やしたことにより600万円の収入増となり財源の増に寄与した。

今回の提案は約1千万円の町支出である。直ちに撤回するよう求める。

**答** 人づくり・少子化対策支援は町づくりにおいて重要な柱と認識しており、新たな取り組みとして、「小中学校入学祝金」を盛り込みました。

**引き抜き基礎杭の内容は**

杭長、5mから44mの杭が引き抜かれました

**問** 新庁舎問題審議不十分の中から、引き抜いた基礎杭の内容と、地盤への影響は。

**答** 杭は合計837本、28m以上238本最長44m171本。基礎工事費用が増額となる場合に

は、建物の構造と基礎工事を合わせて調整を計ります。

**問** 庁舎建設については国県の補助がないが、国のコンパクトシティ政策に乗れば様々な補助や支援があり、もう一度立ち止まり冷静に研究する余地があるのではないかと。

**答** 全体的なまちづくりを行うために有効と考えております。立地適正化計画の策定が必須であります。

これも質問

岡バスを中心とした公共交通。乗りやすくするための取り組み、乗っていただけるための取り組みをどのように工夫しているのか。乗っていただくための啓発は。

| バス 時     |                |
|----------|----------------|
| 鉄砲町（内回り） |                |
| 行        | 坂下             |
| 6        |                |
| 7        | 40 45 48 48 53 |
| 8        | 45             |
| 9        | 55             |
| 10       |                |
| 11       | 35             |
| 12       | 45             |
| 13       | 49             |

坂下行きは、終点坂下でも經由地が3つに分かれる。どのバス停にも路線図が無いので、どこに行くのか分からない。



たか としあき 議員  
高久 敏明

具体的な計画は

現庁舎跡地への賑わい拠点の整備は

令和12年度の着工を目指し町民の方々と対話を重視し進めて参ります

映像はこちら  
から↓



**問** 新庁舎建設の住民説明会において、庁舎の移転後も現庁舎周辺地域のまちづくりは重要であるとの認識で、地域振興施設の建設を想定しているようだが、具体的な計画内容と今後どのように事業を進めていくのか伺う。

**答** 初市大儀引きなど祭りイベントの拠点、食、町巡りを通して住民同士や町を訪れた方々との交流、若者が様々な取り組みにチャレンジできる活動の場など、町民の方々の様々な視点や意見・要望を取り入れ、周辺地域の歴史的な文化・街並みと調和しつつ、人が集い、賑わい、時には心癒され、全ての町民の方々に愛着や誇りを持つていただける施設整備を、町民の方々と膝を交えた「対話」を通して思いを共有しながら進めてまいります。

**コミュニティバスの試験運行の予定は**

利用者のニーズに合わせ本格運用に向け準備してまいります

**問** 今年度策定を予定している地域公共交通計画の策定について、今後の方向性と今年度実施予定のコミュニティバスの試験運行について伺う。

**答** 現状においては、鉄道・バスともに利用者数は年々減少傾向にあり、タクシーを含めた公共交通機関相互の連携によるネットワークを形成するなど、利便性向上による利用促進の取り組みを強化しなければならぬと考えており、持続可能な地域公共交通体系を構築してまいります。

また、子供から高齢者まで誰もが利用しやすい便利な公共交通体系を構築するにあたりコミュニティバスの運行が必要であると考えており、実証実験を行い、本格運用に向けた準備を進めてまいります。

これも質問

岡坂下東第一土地区画整理事業の事業進捗の加速化について



さとう そうた 議員  
佐藤 宗太

**町の将来のため**  
**古川町政2期目の公約の優先順位をどのように考えられているか**  
**人づくり・少子化対策は早急に進めなければなりません**

映像はこちら  
から↓



## 問

町長選挙での公約をどのように考えておられるか。

## 答

第六次会津坂下町振興計画後期計画は、町の将来像である

「やっぱり ばんげ」がいい！住み続けたい、やりたいことがあふれるまち」の実現のため、まちづくりの方針として策定したものであり、私がいただいた4年間の中で後期基本計画に基づく各種事務事業を一つひとつ着実に実現していくことが、私の使命であると考えております。

公約における主たる施策を優先的に実施していくことはもちろんであります。目まぐるしく変化する社会情勢に迅速かつ柔軟に対応しながら、必要な財源の確保に努め、「やっぱり ばんげ」がいい！と言ってもらえるような魅力的なまちを築き上げてまいります。



ネーミングライツにより命名された「BMI 鶴沼球場」

## 問

財政健全化、施設の維持管理や町政サービスの向上のために、町有施設に積極的にネーミングライツを活用すべきでは。

## 答

本町に限らず、全国的に人口減少により税収が減額になっていくことが予想される中、公共施設の運営・維持管理費用の確保と、持続可能な財政構造を確立するためには、税収に限らず、多角的な財源確保を進めることが必要であり、より多くの施設で導入することが理想であります。公共施設に限らず、インフラ施設等での導入についても検討を進め、自主財源の確保に努めてまいります。

## これも質問

関ふるさと納税について



いがらし かこ 議員  
五十嵐孝子

**時流にのって**  
**新庁舎の木造化・木質化を！**  
**費用対効果も検証しながら検討します**

映像はこちら  
から↓



## 問

国や県でも推進している公共施設の木造化の動きの中で、当町も地元の木材を使った庁舎の建設を考えてはどうか。

## 答

国・県においては令和3年10月に「都市（まち）の木造化推進法」が施行され、「ふくしま木造化・木質化建築ガイドライン」が改訂されるなど、公共建築物には、広く住民の利用に供するものとして、木造化・木質化を率先していく役割が一層求められています。

森林資源の循環利用という側面、木材の特徴である環境への配慮、心理面・身体面での町民や職員への効果などを考えますと、十分に検討する必要がありますと考えております。

**本町の訪問介護の現状について事業者の支援に取り組んでいきます**

## 問

超高齢化社会により、今後ますます介護の需要は高まると推測される。しかし、それを支える介護事業者の倒産や廃業が増え、過

## 答

去最多を更新し続けている。そこで、当町の訪問介護はどのような現状にあるのか、ヘルパー不足の状況も含めて伺う。

本町には、訪問介護事業所が5か所あり、ヘルパー数は常勤・パートを合わせ61名おります。全国的な状況と同じく、課題も少なからずあります。具体的には、職員数の増員が困難であるため新規利用者の受け入れが難しいことや、男性スタッフが不足していること、50代から60代のパートのヘルパーが主力であり、若い職員が少ないことなどです。

現状や課題を、国や県に対して訴え、改善要望をしていくなど努めてまいります。



**問** わが町の新規就農者は多い方だと聞いている。これからの就農は親元就農ではない方々も増える

**答** 新規就農の支援策は就農を希望する方々に寄り添った施策になっているか関係機関と連携し、最適な就農計画を進め、丁寧な支援を展開します

**問** 「子ども家庭庁」は「子どもの安全を守る措置」の運用指針として防犯カメラの設置が有効であるとの認識を示した。一方で職員の萎縮や、関係者のプライバシーの保護も考慮しつつ、様々なケースを想定した対策を必要としているが、どのように考えているか。

**答** 近年、教育施設における不審者の侵入をはじめ、児童生徒が巻き込まれる事件が全国で発生しており、学校現場における防犯対策は喫緊の課題であると認識しております。わが町では、来校者用玄関に防犯カメラを設置しており、不審者が侵入した場合に備え、「さすまた」やネットランチャー等の防犯用具を配置しております。また、幼稚園も含め、新たな事業に備え、実情に沿ったきめ細やかな対策を講じてまいります。



おばた ひろし 議員  
小畑 博司

子どもの安全のために  
教育施設などの防犯対策を  
どのように考えているのか  
防犯対策は喫緊の課題であると考えています

映像はこちら  
から↓



固地域おこし協力隊の皆さんの起業や、定住は進んでいるか。

これも質問

さらには、経営開始までの大きな資金調達も必要になることから、町独自の補助制度につきましても研究を進めるとともに、国・県・JA等関係機関と連携し、就農希望者に寄り添った丁寧な支援を展開してまいります。

**答** 安定した収入が見込めない就業初期を、国の交付金制度を活用して支援してまいりました。しかし、例年、交付時期が遅れ、新規就農者の皆さんに負担をおかけしてしましました。そこで、県と協議を重ね、今年度につきましては早めの交付を目指し、手続きを進めてまいります。

また、新規就農者は農業機械や設備の操作、栽培技術等の経験や知識を必要としております。そこで、一昨年に設立された「次世代農業者会」のなかに「担い手の育成・確保」に関する部会を設置して支援する体制を強化いたします。

**問** 庁舎建設費の総額が40億となっているが、予算削減の策を講じるべきではないか。

**答** 事業費の圧縮は必要だと考えております。現在は、木造化による補助制度の活用や、基礎工事費の削減、会議室等を災害時の対策本部や一時避難所として利用することにより緊急防災減災事業債を活用すること等を検討しております。今年度策定するDX推進計画では、新庁舎整備後の業務改善や働き方改革などの視点も含め策定する予定であり、相互に連携をとりながら新庁舎建設基本計画の策定を進め、町民や職員をはじめとする全ての利用者にとって安全で使いやすく、より質の高い住民サービスの提供と効率的な行政運営が可能な新庁舎となるよう進めてまいります。



いがらし まさやす  
五十嵐 正康 議員

策はあるのか  
庁舎建設費予算削減の考えは  
事業費の圧縮に努めてまいります

映像はこちら  
から↓



町中の振興施設の創成について  
住民の方々の居場所となる施設を目指してまいります

固国土調査について  
固DXと一体化した庁舎建設計画の必要性について

**問** 古民家を活用した「発酵文化・そば伝承館」の設置の考えや、図書館をキーワードにした地域振興策について伺う。

**答** 観光物産協会の蕎麦振興委員会を中心として、坂下町の蕎麦を、文化庁が実施している「100年フード」の認定に向けて準備を進めております。伝承館の開設を、活気と魅力があふれ人が集うまちづくりの実現に欠かせない取組の一つに位置付け、議論を進めてまいります。

また、現在のところ、新たな図書館の設置の考えはありませんが、子どもから大人まで全ての年代に向けた図書の充実や、利便性の向上を図り、より多くの町民の皆様の学びの場、憩いの場として活用していただけるよう取り組んでまいります。

これも質問



よこやま ちよ 議員  
横山 智代

## 町長の考えは

2期目の吉川町政の福祉行政特に障がい者、高齢者について、これからのように取り組むのか

地域生活に必要な支援・サービス等や相談支援の充実を図ります

映像はこちら  
から↓



**問** 福祉行政についての町長の考えと加齢性難聴者の補聴器購入についての考えを伺う。

**答** 「福祉」とは、人が幸せに暮らせることにあり、と考えております。

個人だけではなく、地域社会全体の幸せを高めることが大切であり、暮らしを豊かにし生きがいのある人生を支え、命を尊重することが重要であると認識しております。

障がいのある方や高齢の方が自立した生活を送ることができ、地域で安心して暮らせるよう、地域生活に必要な支援やサービス等の提供体制の構築や、相談支援機能の充実を図ってまいります。

また、加齢性難聴者への補聴器購入制度につきましては、まず高齢者における加齢性難聴の実情や社会参加の状況等の把握を行ってまいりたいと考えております。

**小中学生は元気に登校できているか**  
**不登校の小中学生は、増加傾向にあります**

**問** 小中学生の不登校が全国で急増しているが、坂下町の子どもの現状と対策について。また、国が設置を進めている体育館への空調

**答** 設備の設置について伺う。本町の不登校の実態は増加傾向にあります。

また、夏休み明けの2学期から不登校になることが多く、ほとんどが長期化しております。

兄弟で不登校になる場合もあります。不登校になる要因は様々で、その要因が複雑に絡んだり、理由がはっきりしない場合もあります。教育委員会では、本人や保護者の考えを最優先に考えた支援計画により、支援してまいります。また「不登校はどの子にも起こり得る」という認識をもち、一人ひとりをよく見、小さなサインを見逃さず、早期に発見できるようにしてまいります。

児童生徒一人ひとりのよさや、可能性を少しでも伸ばすことができるよう、児童生徒や保護者の心の声に耳を傾け、寄り添いながら支援してまいります。

近年、気候変動の影響により気温上昇が顕著となっております。普通教室には空調が設置されておりますが、体育館については未設置となっております。令和7年3月に水道事業100周年を記念し、町水道事業から各学校体育館へ大型冷暖房が無償貸与され、今シーズンより活用する予定となっております。

児童生徒一人ひとりのよさや、可能性を少しでも伸ばすことができるよう、児童生徒や保護者の心の声に耳を傾け、寄り添いながら支援してまいります。



めぐろ かつひろ 議員  
目黒 克博

## 環境の変化に対応を！

町地域防災計画の改訂について問う

随時、町地域防災計画を見直し、防災・減災に取り組んでまいります

映像はこちら  
から↓



**問** 防災教育における指導・課題について伺う。

**答** 小学校では「自然災害から身を守る」の学習において、「坂下学」の「すすめ」で過去の災害の歴史を確認し、中学校では日本の地形・気候特色、自然災害と防災の取り組みや、特別学習で災害に対してどのように身を守るかを実際の訓練を通して学習を行っております。また3月11日に合わせて東日本大震災の記憶を繋ぎ、防災意識を高める取り組みをしてまいります。各施設についても、地域の状況に合わせた安全設計や危機管理マニュアルを作成しているところですが、環境の変化に応じて今後も定期的に見直し実効性のあるものにしてまいります。さらに幼児・児童・生徒らが自らの命を守るための主体的な行動を身に付けさせ、避難訓練後には適切な避難行動ができたか振り返り、話し合う時間を充実させ、自ら考え・判断・行動できる子供を育ててまいります。

**問** 展示中の蒸気機関車のメンテナンスと今後の管理について伺う。

**答** 展示されている蒸気機関車は、昭和48年に教育等の展示資料として、仙台鉄道管理局より無償で借り受け、管理については町の負担で行っております。現在は南小学校児童の協力を得て除草作業を実施しております。車両は腐食・劣化等が進んでおり、修繕には多額の費用が想定されることから、現在は安全管理上、柵で囲み一般公開は行っておりませんが、今後も蒸気機関車周辺の環境整備に努めるとともに、子供たちの情操教育・観光資源等に活用を図ってまいりたいと考えております。



町営駐車場に展示中の蒸気機関車



### 早期撤去に向けて

4月24日、除草剤埋設箇所を町、議会、営林署の方々と現地視察調査をしてきました。

ダイオキシン類を含む「2,4,5-T系除草剤」が昭和47年、宇内地区と高寺地区に埋設されました。50年以上が経過しコンクリートの劣化も懸念されています。

町議会としても撤去に向け早期に着手していただけるよう、6月9日には会津森林管理署への要望活動、6月23日には、4班に分かれ、国・県選出国会議員への中央要望を行いました。

※会津森林管理署では年2回以上の定期点検を実施しています。これまでに埋設物が流出するなどといった異常が確認されたことはありません。

#### ～現地視察（4/24）～



#### ～会津森林管理署訪問（6/9）～



#### ～中央要望（6/23）～



青山豊久林野庁長官



小熊慎司衆議院議員



根本拓衆議院議員



岩淵友参議院議員

### 2, 4, 5-T系除草剤とは？

製造過程でダイオキシン類が極微量に含まれることがわかり、ダイオキシン類による催奇形性の恐れがあると指摘されたことから、昭和46年4月に林野庁長官から各営林局長（現在では森林管理局長）及び都道府県知事に対して、2,4,5-T系除草剤の使用を中止する通知を発出、当町国有林2ヵ所に埋設されました。



## 今年も再会できました 会津坂下会総会に参加しました



今年も6月22日に東京で開催された会津坂下会総会に参加してきました。

今年の参加者は総勢82名、金上・広瀬の新規メンバーが増え、予想以上に会場内は盛り上がりしました。終盤は全員で恒例の会津磐梯山を踊り、次年の再会を誓い合いました。



## 町長へ要望書を提出

令和8年4月1日より、自転車等の交通違反に対し「交通反則通告制度」（青切符）による取り締まりが開始されることに伴い、自転車が安全に通行できる道路環境の整備等、町民の安心安全な交通環境のため、下記のとおり要望書を提出しました。



1. 町内道路における、自転車通行の現状を把握し、安全でないと認められる箇所については国県と連携し必要な措置を講ずること。
2. 令和8年4月1日より自転車の交通違反に対する「交通反則通告制度」が開始されることを、県公安委員会や各学校等と連携し、中学生や高校生を始めとし、町民全体に広く周知徹底すること。

## 初めての Web 行政視察受入

7月11日に二本松市議会市民常任委員会6名が、「会津坂下町のふるさと納税」について行政視察されました。

政策財務課の職員2名が対応し、以下の質疑が取り交わされました。

- 1) 返礼品で多いものは、どのような品物ですか。
- 2) 開発において気にかけていることは何ですか。
- 3) ふるさと納税が、他の事業にどのように貢献していますか。
- 4) 人気の「ヨギボー」について など



町の担当職員は、「各サイトの商品の選択肢を多くして、お客様がページから離れない工夫や、地元を回って商品開発の提案などもしている。日々の取り組みの結果、町のふるさと納税がここまで来ている」と話していました。

Web 行政視察は初めての経験でしたが、今後こういう形での行政調査を積極的に受け入れていくことも必要だと感じました。



二本松市議会市民常任委員会の方々 町の政策財務課職員



### 結束して地方創生！

7月24日、昭和村において「第35回両沼地方町村議会議員大会」が行われました。両沼7町村から提出された12件の議題が審議されました。多くは、河川や道路整備の取り組みなどについてでした。



本町議会からは、総務産業建設常任委員会委員長の高久敏明議員より次の2件の議題を提出し、可決されました。

- 1) 一般県道熱塩加納会津坂下線（新館地内）の右折レーン滞留長の延長及び狭隘区間の解消について
- 2) 観光資源としてのJR只見線の利活用促進と沿線町村への観光誘客の取り組みの支援促進について

また、両沼7町村を代表して、赤城大地議長が「積極的な議会活動を通じ、町村自治のさらなる振興発展のため、一致結束して果敢に行動していく」などの宣言文を朗読し、2年に一度の議員大会は幕を閉じました。



## “ばんげ”の明るい未来のために

## ばんげ未来トーク派遣依頼募集!!



ぜひ私たちと一緒に「ばんげの明るい未来」について語り合いたいです！皆さんの声をお聞かせください！

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．

### ◎申込方法◎

実施希望日の3週間前までに、議会事務局へお申し込みください。

お申し込みの際は、所定の様式に記入していただく必要があります。下記HPからダウンロードしていただくか、事務局までお問合せください。

会津坂下町議会事務局  
電話 84-1507



#### 1. 実施期間

令和7年8月25日～令和8年1月31日  
（土日祝、夜間も可。※年末年始を除く）

#### 2. 懇談時間

1時間～1時間30分程度

#### 3. テーマ

- ①移住定住 ②子育て支援・教育  
③産業振興・雇用 ④高齢者・障がい者福祉  
⑤環境・まちづくり ⑥防災 ⑦その他

#### 4. 対象

町内在住、在勤、在学の5名以上のグループ

#### 5. 経費

無料（※公共施設以外での開催経費は申込者でご負担ください）

MINNA NO HIROBA  
**みんなのひろば**

**ばんげの「いい顔」みつけた！**

第218号は、「塔寺いこいの森百年委員会」を広報広聴委員の山口享が取材しました。



**塔寺いこいの森  
百年委員会**

この委員会は、「百年後を語り合いながら」「焦らず、ゆっくり、長続きする会」をモットーに、平成22年に設立されました。

現在会員は16名で、年5回程度活動をしています。

花の咲く季節には、町内外問わずたくさんの方に見に来てほしいという思いから、いこいの森の美しい景観を守るため、山道の草刈りや花の植栽、車道の整備などを精力的に行っています。

**山が好きな人 自然が好きな人  
老若男女 年齢問わず  
メンバーを募集しています！**

**編集後記**

2期目を迎えられた古川町政が始動いたしました。町長選挙により、1ヶ月遅れとなった第2回定例会も終了しました。

議会開催中、連日の猛暑であり、又、白熱した議論が繰り広げられました。傍聴者の方々も大変多く、内外から暑さを感じたのではないのでしょうか。

町長施政方針の中にも「やっぱりばんげがいい！住み続けたい、やりたい事があふれるまち」を実現するため、町、議会、一丸となって取り組んでまいります。  
(山口 享)

広報広聴特別委員会  
委員長 山口 享  
副委員長 目黒 克博  
委員 五十嵐孝子  
委員 物江 政博  
委員 佐藤 宗太